



2017年5月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第152号

川口クラブ会長 楽しかったと言える1年を！
 主 湘南・沖縄部部长 あなたが退会しない理由は？
 東日本区理事 明日に向かって、今日はたらこう
 題 アジア会長 ワイズ運動を尊重しよう
 国際会長 私たちの未来は今日

今月の聖句（強調月間：国際協会、東日本両特別基金）

種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は喜びの歌をうたいながら帰ってくる。

詩篇126篇6節

4月例会報告 お花見変じて料理教室で

4月1日お天気ならば、厚木の有名な花火とお花見の名所三川合流の河原で、初めてのお花見バーベキュー例会の予定があいにくのお天気。そんなこともありうるかとあらかじめ予約してあった、これまた厚木市自慢の市民交流プラザアミューの真新しい料理教室での例会とあいなった。



何時もの通り厳粛に例会を済ませ、本日の待望のメインイベントの始まり。女性会員は用意

宜しくエプロン姿、手際よく、食材を洗う人、刻む人、フライパンでいためる人。ビジターの佐藤茂美さん、千葉さん、森田さんのお母さんもお手伝いいただき、加えてバーベキューのベテラン堀田さん、なかなかの料理通小松さんも加わり頼もしい限り。ややあって定番の焼きそばその他、手の込んだおいしいお料理が食卓に所狭し並べられ、来年こそは花の下でと思いながらの舌鼓、言う事なし。

食事後、食器の片づけがおわったところで、佐藤さん司会でリクリエーションスタート、頭脳



のいるお遊びで川柳の上の句を佐藤さんが読み、みんなで下の句を考える少し上品な厚木クラブらしいお遊びにしばし興じました。さらに久ぶりに堀田さんの五木の子守唄を聞くことができ全員大喜びでした。日下部さんと小林秀さんから厚木 YMCA 日本語学科の生徒さんたちが教室以外で日本語を使う機会が少ないのでぜひ課外で生徒さんたちと日本語で雑談をしてほしいとの希望に応え、レッスンを重ねている体験談のお話があって本日のイベントを好評裡におえることができました。感謝。

(小林 秀)

厚木YMCA子ども館献堂式



4月8日14時から高島ビル4階で「YMCA子ども館」の献堂式がご多忙の小林市長、石井市議、はじめ関係ある

方々の出席で盛大に行われました。

市長さん、石井市議（会員）から厚木市は子育て日本一をめざして励んでおり、厚木Yの子育て支援の活動に感謝している、共に手を携え自分たちが大

例会データ	4月	在籍会員	19人
会員	13人	メイキャッツプ済み	
ビジター	2人	出席率	
ゲスト	1人		
合計	16人		68%

人からしっかりと育まれてきたように子供たちがこの伝統を受け継ぎ次々世代に伝えていけるよう努力したい旨のお祝辞を頂いた。

奥菌館長からは、1997年から厚木Yでは障害児・者向けの水泳、体操、野外活動をおこなってきましたが、このほど県の認可が得られましたので、本格的な児童発達支援事業として厚木YMCA子ども館内で館内の保育園ホサナ、学童保育所あゆの学校と連携しながら、さらに隣接するYMCA健康福祉専門学校とも連携を図りながら新たに運営されることが報告されました。



圧巻は「あゆの学校」のかわいい児童による合唱でした。明るく楽しい

表情の児童たちの歌声はさながら天使の歌声を思わせるすばらしいもので参列者全員、涙腺が開きっぱなしだったのではないのでしょうか。写真は私の下手な写真よりと思い、撮影に来ておられた横浜Yの池田さんをお願いして戴いたものです。

式の終りの謝辞の中で田口横浜YMCA総主事は青少年の育成からはじまったYMCA活動が、ゆりかごから墓場までの過程を経て、今や赤ちゃん誕生の前からのマタニティ水泳から墓場を超えて遺族の心のケアにまで及ぶ広範な活動にまでなったこと。それらはいくまで上から目線ではなく、連帯するものとしての活動に徹しようとしていること、献堂式にあたっては、子ども館を場として、子供たちが豊かな心と体をしっかりと育むことができるようとの思いをさらに強くしましたと。

横浜YMCA VISION2020のスタート、厚木YMCAでは子ども館の開館を皮切りにこれからいろいろな活動が展開されることとなります。私どももよく理解し、しっかり協力していきたいものと思いません。(田口)

ワイズメンズクラブへの入会の動機

人さまざま (ワイズ読本2008年発行より)

北村文雄 湯河原クラブ 1975年入会

大学時代からやっていた乗馬仲間が湯河原でホテ

ルを経営しており、そこがワイズの例会場になったのが縁で誘われて入会。25歳日本区最年少メンバーだった。日本区、東日本区大会開催地の盛り場巡りが楽しみであり、楽しい思い出でもある。目指すは東日本最高齢メンバー。

佐藤節子 厚木クラブ 2004年入会

1995年4月から、厚木YMCA健康福祉専門学校にて非常勤講師と運営委員です。運営委員会「そば打ち体験 舌鼓を打つ会」に田口堅吉さんが参加。ワイズを知る。入会した翌月に湘南・沖縄部会に参加。当時、コスモスクラブ林理子さんと同室だったことが、“はまる”基でした。ちょっとキザですが、入会して私の人生はバラ色です。

佐藤通彦 熊本むさしクラブ 2000年入会

飲み屋のカウンターで声を掛けられたのがきっかけ。数年はあまり深く考えていなかったが、ワイズ活動で妻もできた。娘も出来た。仲間も出来た。私にとって、今一番大切な物すべてがワイズからきた。ワイズはそういう心と心の集団だと思う。

乙坂優次 京都トップスクラブ 1996年入会

「楽しいところがあるよ」と友人に言われて参加したのがクリスマス例会と新年会。「これは良い」と即入会。「騙された!」と思ったが、次の長老の言葉が私をその気にさせてくれました。

「ワイズは人と人との交流の場、その出会いが自分のお宝となる。」

高瀬稔彦 岩国クラブ 2000年入会

チャーター準備にかかわる友人から「高瀬のほうがいいと思うよ」と強引に押し付けられた。全国のワイズメンとかかわるうち、気の置けない仲間が各地にできた。ロータリーにも入会しているが、家族ぐるみでのアットホームさは真似ができない。

厚木クラブ5月活動予定

☆5月24日 本例会

卓話 VISION 2020 と厚木クラブ (仮)

田口横浜YMCA総主事 (打診中)

☆第2例会

6月には新年度役員就任式など行われる予定ですので、次期活動計画、予算案などの打ち合わせが行われることになると思います。多くの方のご出席を期待申し上げます。